

ペンダントの作り方



1 デザイン画を描く



2 デザイン画を
コルクの板に貼る



3 カッターナイフやハサミでデザイン
画を貼ったコルク板を切り抜く



4 ボール紙の上にコルク板 その上に溝口を切った
ボール紙を合わせ、溝口を乗せて両端を木板で挟む



5 クリップで固定する



6 溶かした錫を流し入れる



7 錫が冷めてから
クリップをははずして
鑄型から作品を取り出す



8 淵道を切断し
ヤスリで形を整える



9 金箔や色箔を貼るために
接着剤を塗る
好きな色の箔を貼る



10 ひもを通す穴を開けて
完成

【注意】 錫を熱した温度は231度あります
火傷など危険が伴いますので、工程⑥の錫を流し入れる作業は講師やスタッフがいたします
また、作品に紐を通す穴をあける作業も講師やスタッフがいたします

●このプログラム内容は、専門的な知識と経験を持った方の指導と立会が必要です●

JCDA

公益社団法人日本クラフトデザイン協会
TEL:03-6455-5533 FAX:03-6455-5534
E-mail:info@craft.or.jp http://craft.or.jp
151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストックメイジュ 408

2018年7月発行

KEIRIN
00

親子ふれあいワークショップは、
講師の補助を受けて実施します。

親子ふれあいワークショップ

金属を溶かしてペンダントを作ろう!

鑄造オリジナルアクセサリ

熱して溶かした金属を型に流し込み
冷やし固めてかたち作することを鑄造(ちゅうぞう)といいます
マンホールのふたや自転車のチェーンなども
鑄造の技術で作られています
コルクシートを自由に切り抜いた型に 溶けた錫を流し込み
オリジナルアクセサリ
を作りましょう



お話は・・・

小関郁子(こせきいくこ)先生

鑄造作家
東京藝術大学大学院造形学専攻
鑄造の技法を用いたアクセサリ等を作成、発表
都立高校で、鑄造・デッサン・工芸などの指導をしています
「鑄造」って、どんなこと?
どんなものが作られているのでしょうか?
みなさんがワークショップをより楽しめるように、いろいろお話しします



鑄造(ちゅうぞう)ってなあに？

金属は、ある温度になると溶けて液体になります。高温で溶かした金属を型に流して冷やして固めたものを鑄物(いもの)と言います。この鑄物を作ることが鑄造(ちゅうぞう)です。鑄造は、同じサイズや複雑な形のものでも大量に作る事ができる技術です。

鑄造は、紀元前3000年頃にメソポタミアで生まれました。

日本に鑄物作りが伝わったのは紀元前400年頃。最初は、神様をお祭りする道具などが作られました。

現在、身の回りには、たくさんの鑄物があります。鉄びん、蛇口、すき焼き鍋、マンホール、チェーン、お寺にある鐘、上野の西郷さんの銅像や渋谷の八子公も鑄物です。

奈良の大仏は、世界最大の鑄物の仏像です。

●日本の鑄物生産量は？

日本の鑄物生産量は、年間553トン(2014年)で、世界第4位。

これは東京スカイツリー154本分の重さです。



鉄びん



銅像(写真は二宮金次郎像)



お寺の鐘

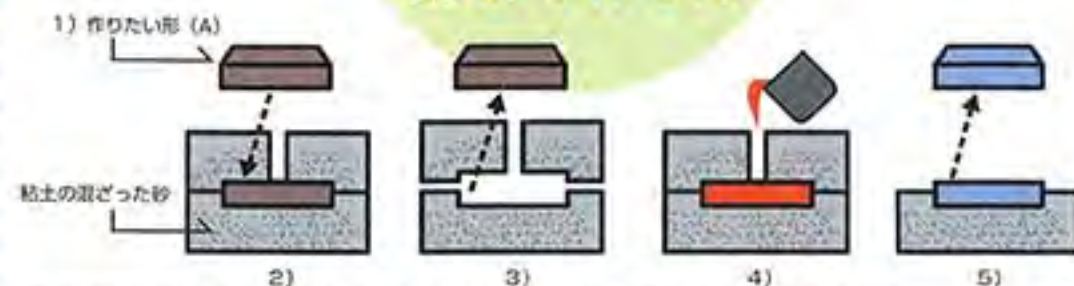


自転車のチェーン



マンホールのふた

鑄物の作り方



作り方はいろいろありますが、最も一般的なのが、砂の型を使う方法です

- 1) 作りたい形(A)を用意します
- 2) (A)を粘土の混ざった砂に埋めます
- 3) 砂を崩さないように(A)を取りのぞきます
- 4) 取りのぞいて空洞になったところに、溶かした金属を流し込みます
- 5) 金属が冷えて固まったら砂から取り出します

大きな大仏はどのようにして作られたのだろう



- 1) 木と竹で、大仏の骨組みを作ります
- 2) 骨組みに粘土を盛り付け、顔や着物を削り出して原型を作っていきます
- 3) 出来た原型のまわりにまた土を盛り付け、大仏全体の型を作ります
- 4) 外側の型をはずして、大仏の原型を少し小さくけずり、外側の型を大仏を囲むように組み立てます
- 5) 大仏と型の隙間に、何回かに分けて溶かした銅を流し込みます
- 6) 銅が冷えて固まったら、外側の型をはずし、みがいて完成です

高岡大仏

高岡大仏は、富山県高岡市にある高さ約16メートルの阿弥陀如来坐像です。

奈良と鎌倉の大仏とともに「日本三大仏」と言われています。背中にそびえる「円光背」が特徴的な青銅製です。初代と二代目の木製大仏が火事で焼失したため1933年(昭和8年)に青銅で再建されました。

さきおり

お話と手作り体験のワークショップを開催します

手作り体験・・・

着物リサイクルで作る「裂き織り匂い袋」 きものリサイクルでつくる「さきおりにおいぶくろ」

裂き織りは 資源を大切に想う人々の心から生まれ育まれてきたリサイクルの文化です
大事に使われてきた着物から小さな匂い袋をつくります
着物が布から糸になり また形あるものへと変化する過程を
体験しましょう



日時

2019年1月12日(土)

午前の部 10:30 ~ 12:30

午後の部 14:00 ~ 16:00

参加費

親子1組 1500円

※2人分の材料費を含みます

※お申し込み方法は裏面をご覧ください

会場

ミッドタウン・タワー5F

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

東京都港区赤坂9-7-1



お話は・・・

リサイクルの知恵「裂き織り」について

猪坂周一 (いさかしのいち) 氏 (全国製織協会事務局長)

上田袖織元有限会社いさか代表取締役

手織り工房、染工房イサカ絹美堂代表

株式会社イービーエム代表取締役

KEIRIN



親子ふれあいワークショップは、
同様の補助を受けて実施します。

着物リサイクルで作る「裂き織り匂い袋」

保護者の皆様へ

公益社団法人日本クラフトデザイン協会では、「手からものを創り出す」大切さを伝えようと、長年ワークショップに取り組んできました。今回は小学生から中学生の親子を対象に、裂き織り匂い袋を制作します。

ワークショップの当日は会場隣で第58回日本クラフト展が開催されています。およそ900点にのぼる様々なクラフト作品が展示されている会場をご覧ください。

この機会に、クラフト作品で使われている素材にちなんだレクチャーと、技術指導を交えながら制作の楽しさを親子で体感していただければと願っています。

公益社団法人日本クラフトデザイン協会

公益社団法人日本クラフトデザイン協会(JCDA)は、1958年に創設されました。1976年に社団法人に認可され、2013年に公益社団法人としての認定を受けました。クラフトデザインの普及を図り、産業の発展と人々の生活文化の向上に寄与することを目的に、半世紀以上日本のクラフトデザインの中心的役割を担い、活動を行っております。クラフト関連の組織として唯一法人化された全国組織で、クラフトマン、クラフトデザイナー、教育関係者を中心とした正会員、賛助会員(法人・個人)、会友により構成されています。

申し込み開始 11月30日

着物リサイクルで作る「裂き織り匂い袋」参加申込書

お名前 親 _____
子 _____ 年齢 才 _____

参加クラス 希望されるクラスに○を付けてください

1/12(土) () 10:30~12:30 15組30名
() 14:00~16:00 15組30名

- 布を裂く作業がありますので、汚れてもいい服装(またはエプロン)と必要な方はマスクをお持ちください。また、ハサミをご持参ください。(1人1本)
- お申込み後、日本クラフトデザイン協会事務局から参加票をお送りいたしますので、当日ご持参ください。
- 参加費は当日お支払いください。

ご住所 _____

TEL & FAX _____

携帯番号 _____

Email アドレス _____



公益社団法人日本クラフトデザイン協会

151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストックメイジュ408

TEL 03-6455-5533 FAX 03-6455-5534

info@craft.or.jp

<http://www.craft.or.jp> ホームページからも申し込みが出来ます

着物リサイクルで作る「裂き織り匂い袋」作り方

< 布を裂く >



はしから 1cm~1.5cm のところに少しハサミを入れ、前後に引っ張るようにして布を裂きます

< 織り始めから仕上げまでの工程 ①~⑨ >



① 一目目を織りましょう
板を立てて、経糸のすき間にししゅう糸を通します



② 二目目を織りましょう
割り箸を持ち上げて経糸のすき間に、ししゅう糸をひターンさせるように入れます



③ 織り始めを仕上げましょう
①と②を繰り返して6段織ります
最初と最後に出していた糸どうしを結びます



④ 裂き織りをしましょう
裂き布で①と②の動作を繰り返して織り進めます
裂き織りは18cm織ります



ポイント1
一目目の布はしを2段目に入れてはしを始めます
ポイント2
色を変えたい時は、布はしを次の段に入れて、はしが飛びださないように気を付けます



⑤ 織り終わりを始末しましょう
18cm織ったら最初と同じように、ししゅう糸で6段織り、糸はしを結びます



⑥ 木枠から外しましょう
最初と最後に織ったししゅう糸に少量のボンドを付けてハサミで経糸を切ります

< 材料 >



ししゅう糸・始めと終わりを織る糸
裂き布 幅は1~1.5cmで裂く
布テープ 縫に付ける
内袋 織った布の内側に取り付ける
木枠に経糸がかかったもの
(段ボール板とプラスチックの輪がついているもの)
ヒノキ 匂い袋の中身



⑦ 紐を付けましょう
両面テープを貼った布テープを置き、内袋と織った布を貼ります



⑧ 紐を作りましょう
二本の裂き布をセロテープで留めておき、同じ方向によじめます
角が出るほど丸山よじったら、二本を逆の方向に絡めながらよじります
両端をしっかり結びます



⑨ 完成させましょう
袋にヒノキを入れ、紐を結んで完成させましょう

親子ふれあいワークショップ

さきおり

オリジナル手織り機で裂き織り体験

着物リサイクルで作る「裂き織り匂い袋」

きものリサイクルで作る「さきおりにおいぶくる」



裂き織りは 資源を大切に想う人々の心から生まれ育まれてきたリサイクルの文化です
大事に使われてきた着物から小さな匂い袋をつくります
着物が布から糸になり また形あるものへと変化する過程を体験しましょう

JCDA

公益社団法人日本クラフトデザイン協会
TEL:03-6455-5533 FAX:03-6455-5534
E-mail:info@craft.or.jp http://craft.or.jp
151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストックメイジュ408

2019年1月発行

KEIRIN

親子ふれあいワークショップは、
読者の補助を受けて実施します。



お話し・・・
リサイクルの知恵「裂き織り」について

猪坂周一 (いさかしゅういち) 氏 (全国製織協会事務局長)
上田紬織元有限会社いさか代表取締役
手織り工房、染工房イサカ絹美堂代表
株式会社イービーエム代表取締役

【日本のリサイクル文化】

日本人は近代まで
「自然の恵みを大事に使い、使い終わったら自然に戻す」という
「循環型=リサイクル」の生活を送っていました
最近では「その知恵を現代に活かそう」という動きも出ています



江戸時代のリサイクル業者 当時はリサイクルという言葉はありませんでした

- | | | |
|--|--|--|
| <修理> | <回収> | <その他> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 錆掛け (いけり) (金属製品の修理) ・ 瀬戸物の焼き接ぎ ・ 簀や (たがや) (桶や樽の締め直し) ・ 提灯 (ちょうちん) の貼り替え ・ 鏡研ぎ など | <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙屑買い、拾い ・ 古着屋 ・ 古傘骨買い など | <ul style="list-style-type: none"> ・ ロウソクの流れ買い (ロウソクのしずくを買い集める) ・ 灰買い (薪や藁の灰を肥料として農村へ売る) ・ 肥汲み (人間の排泄物を汲み取り肥料として農村へ売る) ・ 漉き返し (古紙から再生紙に漉き返す) |

==== 藁のリサイクル 江戸時代の暮らしぶりから見る稲藁の使われ方 ====

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">衣</div> <p>編笠 (あみがさ)、蓑 (みの) 草履 (ぞうり)、わらじ</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">食</div> <p>堆肥 (たいひ) 藁灰は肥料や家畜の飼料</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">住</div> <p>藁葺き屋根、畳 土壁の補強材料 蔵舎の敷物</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">その他</div> <p>しめ飾りなどの藁細工 米俵</p>
<p>編笠や蓑を身につける人々</p>		<p>米俵をつくる作業</p>	
		<p>藁を混ぜた土壁づくり</p>	
<p>出典：北斎漫画</p>			

==== 布のリサイクル 限られた資源を大切に想う人々の知恵 ====

長年使われてきた布が
新たな用途として生まれ変わる「裂き織り」は
当時の人々の暮らしに密着していました



写眞写真：「サキヨリから裂き織へ」 田中忠三郎著より
コピー・転載不可



古い布を裂いて玉にし
いつでも使えるようにとっておきます



掛布団の代わりの夜着
たくさんの布を使い5キロの重さになっています



掛布団
表は裂き織り、中はボロの布を何枚も重ねて
縫ってあります



こたつ掛け
表は古い布を縫い合わせてあり、中には古くなっ
た裂き織りを入れていました

現代の裂き織り



お気に召すまま (JCDA 会員作品)



フェアーマット (JCDA 会員作品)



タペストリー (JCDA 会員作品)